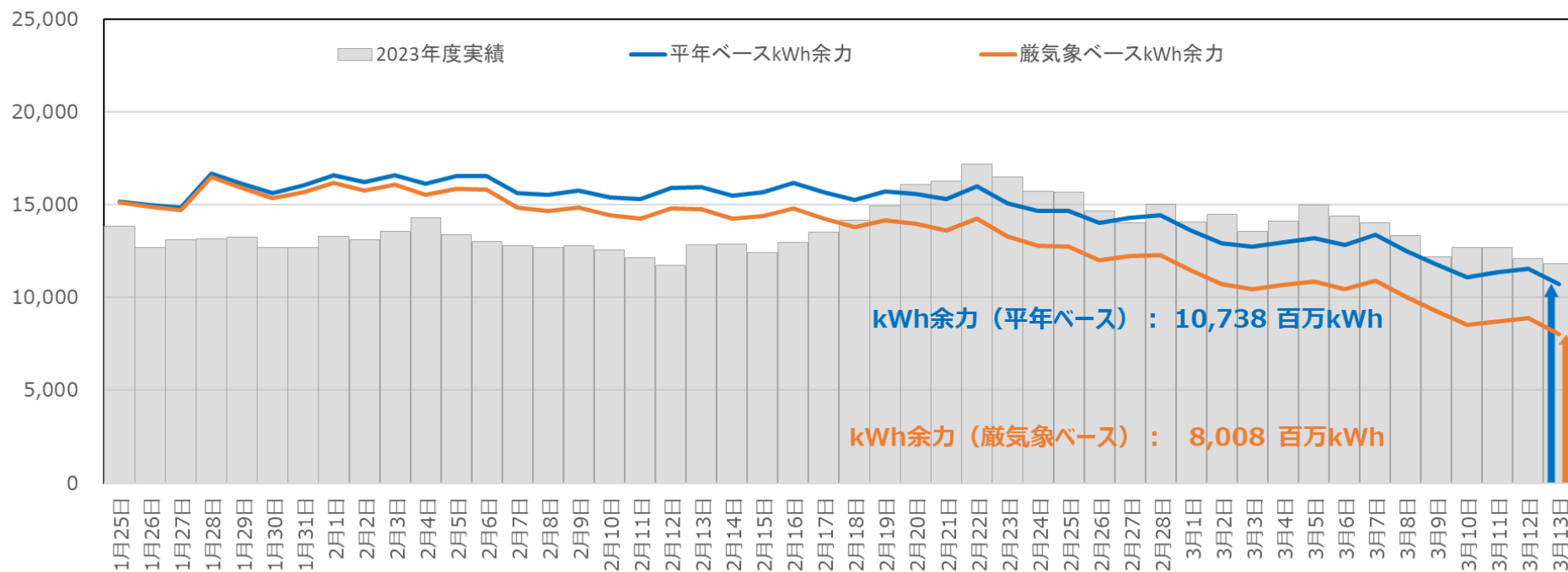


kWhモニタリング（対象期間:1/25～3/13）の結果

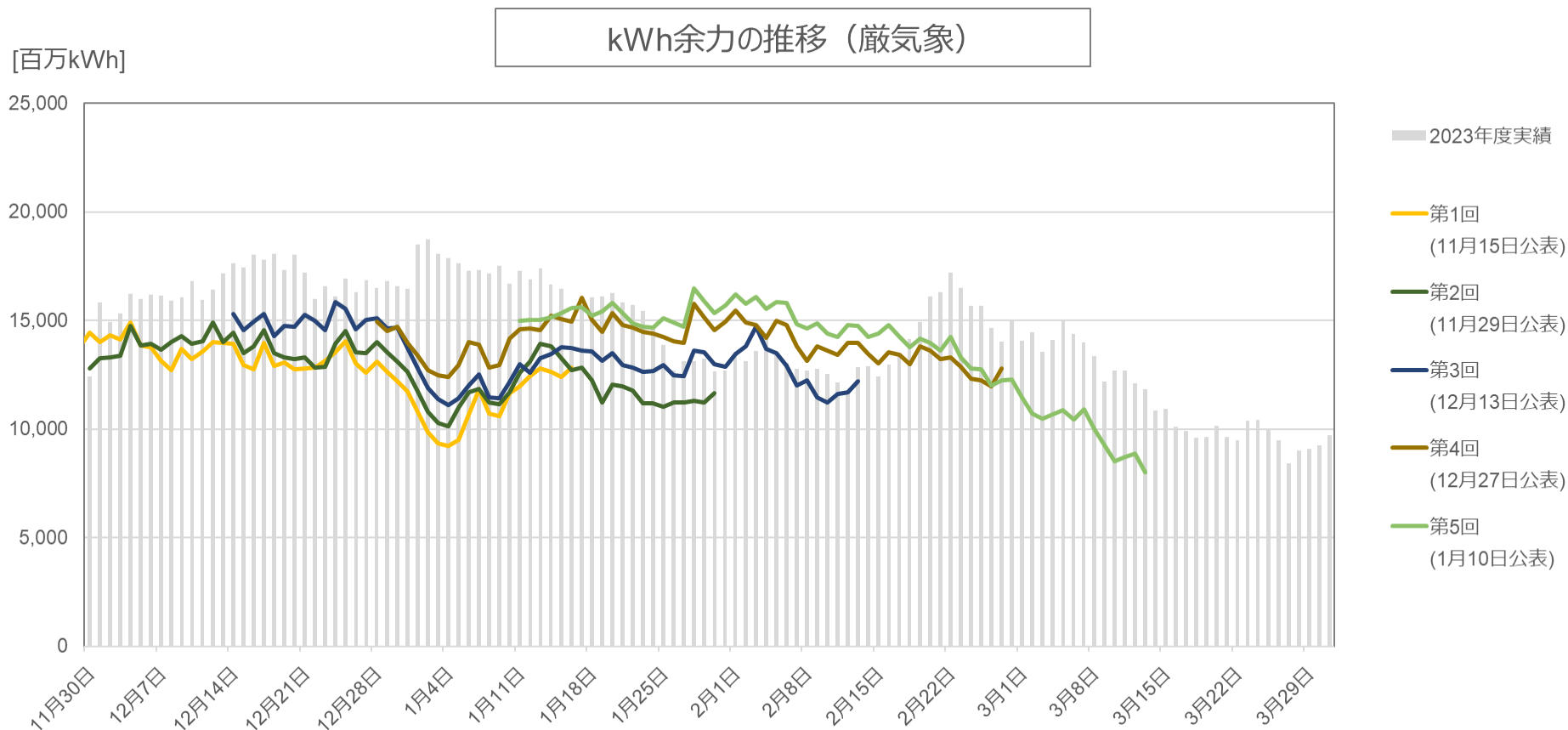
- 今後、平年並で需要が推移すると、kWh余力は3月13日に最小となる見込み。その値は **10,738百万kWh** であり、これは、対象期間の平均電力消費量の**約4日分**に相当。
- 厳気象ベースで需要が推移すると、kWh余力は、3月13日に**8,008百万kWh**となる見込み。これは、対象期間の平均電力消費量の**約3日分**に相当。
- 3月後半に向けた燃料在庫は、平年並の気象条件が続く場合は2023年度と同等で推移する見通したが、厳気象時には低下する可能性もあり、引き続き動向を注視していく。

[百万kWh]



kWhモニタリングの結果（これまでの結果との比較）

- 前回（第4回）のkWh余力（厳気象ベース）と、概ね同じ傾向で推移。



注：上記kWh余力の推移のうち、始めの2週間は気象予報を基にした需要を用いて算定したものであり、厳気象を想定した推移ではない